

健康をつくろう!



県北医療センター
高萩協同病院
歯科口腔外科部長
のちひでひこ
野地 秀彦 先生

皆様こんにちは。県北医療センター高萩協同病院、歯科口腔外科で勤務しております野地秀彦と申します。今回は虫歯、歯周病などが原因で起こる歯性感染症についてお話しします。重篤になると入院下での処置が必要で、時には命に関わることもあるため注意が必要です。

虫歯や歯周病が進むと、歯を支える骨に感染が拡がり、限局した痛みや腫れを引き起こします。これを膿瘍が形成されると言いますが、この段階できちんと歯科治療を行うと、治癒する場合が多いです。

しかし膿瘍形成のあと、治療を行わず時間が経過するとさらに感染が拡がります。限局した部位から、周囲の骨、筋肉や他の臓器にまで炎症が拡がり、蜂窩織炎という状態になります。ここまで来ると入院下で抗生素による点滴や、切開し排膿させる消炎処置、原因歯の抜歯が必要になります。

歯性感染を長期化させると顎骨骨髓炎になることもあります。治癒がなかなか難しく、抗生素を長期間内服、さらに骨の切除が必要になる場合があります。

また上顎では奥歯の歯性感染から副鼻腔も感染を起こし、蓄膿を引き起こすことがあります。これを歯性上顎洞炎といいます。重篤になると入院し手術が必要になります。

重篤な歯性感染症で来院した患者様のお話を聞くと「治療していたが途中で行かなくなってしまった」という方がほとんどです。

初期の虫歯や歯周病はやむを得ない場合がありますが、かかりつけ歯科医院での治療を受け、重篤な状態にしない事が大切です。

「太陽が昇ると同時に手入れを始めるんです」と元気よく語るのは、交通指導員として地域の子どもたちが安全に学校へ行けるよう見守る大和田さん。大和田さんのお宅には、ネモフィラや芝桜がお庭一面に咲き誇っていました。

元々、民生委員主任児童委員を務めていた大和田さんは、登下校する子どもたちの安全をしっかりと見守りたいという気持ちがきっかけで交通指導員になられたそうです。このほか、地域のサロン活動での企画運営やシルバーリハビリ体操の指導士などでも活躍し、中でも37年間に渡つて子どもたちを指導してきた剣道は、現在5段の腕前だそうです。

『剣道を長く続けられたのも、やっぱり子どもが好きだからだと思います』と大和田さん。子どもたちの元気な姿を見るのが大好き!と幸せそうなかなりいさつと笑顔を浮かべていました。

「1年は12ヶ月しかないでしょ?!」と話す元気の秘訣を訊ねると、子どもたちの元気な笑顔しからもらっていると話してくれました。



市役所の仕事



総務課
ふじた まみ
藤田 愛美

総務課は市庁舎の3階にあり、人材育成グループ、文書法制グループ、総務グループの3グループで構成されています。人材育成グループでは、職員の人事に関する業務、文書法制グループでは、情報公開や条例関係など庁内の文書の管理を行っています。私の所属する総務グループでは、統計や選挙、交通・防犯関係などを行っており、総務課の業務は多岐にわたります。

その中で私は、統計に関する業務を主に担当しています。統計業務では、総務省などの国の機関から委託された各種調査を行っています。みなさんご存知の国勢調査もその一つです。みなさんからご回答いただいた調査結果は個人が特定できない形に処理され、国や自治体の各種政策等に役立てられるのみならず、民間企業や大学など国民生活の幅広い分野で活用されています。

今年度も、全国家計構造調査、農林業センサスなど多くの統計調査が予定されています。統計調査は多くの市民のみなさんに支えられている業務です。統計調査に興味がございましたら調査員になってみませんか?

また調査の回答についても、近年ではインターネット回答が普及し以前よりも気軽に回答することができます。調査員が回答依頼に訪問した際にはご協力をよろしくお願ひいたします。

「子どもたちと年配の方に元気を与える!」

生涯現役 いきいき元気



大和田 アヤ子さん
(下手綱)